

10 月 18 日（日）に行われた平成 27 年秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データをもとに、システムアーキテクト試験の合格発表コメントをお知らせします。

■システムアーキテクト試験（SA）

[平成 27 年秋期のシステムアーキテクト試験 統計情報]

応募者	8,181 人
受験者	5,274 人
合格者	697 人
合格率	13.2%

平成 27 年秋期のシステムアーキテクト試験の合格率は 13.2%で前回の 15.0%に対して少し下がりました。まず、午前 I と午前 II 試験の分析結果をお知らせします。

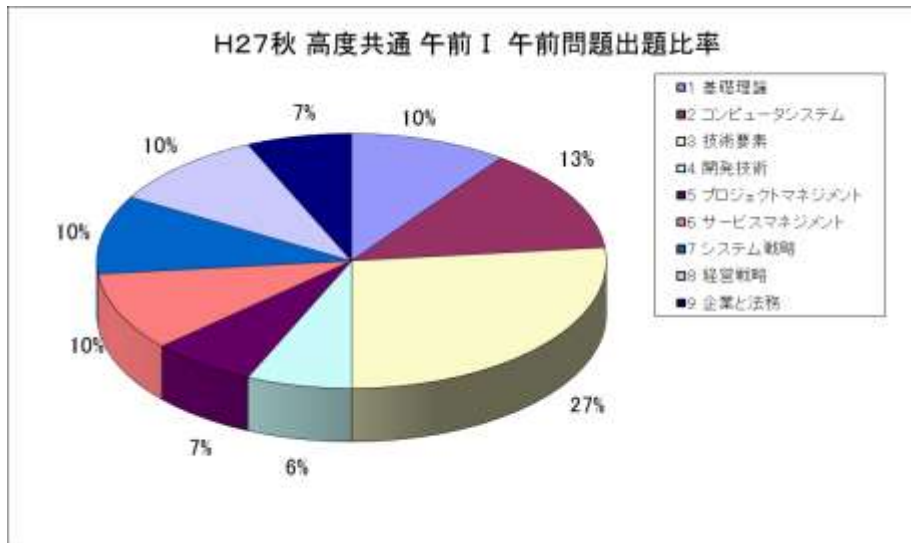
（午前 I 試験（高度試験の共通知識問題））

- ・高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験（AP）から選ばれています。これまで、AP の問題の中でも比較的素直で常識的な問題が選ばれていましたが、基礎理論の計算問題が少し難しかったといえます。
- ・過去問題の比率は約 6 割で従来どおりの比率といえます。また、新傾向問題は前回より少ない 4 問の出題数でした。
- ・分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されていますが、重要な内容（中分類）からは複数出題されています。前々回からセキュリティ分野を重視した出題に変わりましたが、出題数は前回と同じ 4 問でした。
- ・新傾向問題は次の 4 問でしたが、少し詳しい知識が要求される問題でした。

（新傾向問題）

- 問 9 デジタルハイビジョン対応の映像圧縮符号化方式
- 問 25 環境省の環境表示ガイドライン
- 問 26 M&A による垂直統合
- 問 30 サイバーセキュリティ基本法の対象

平成 27 年秋期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



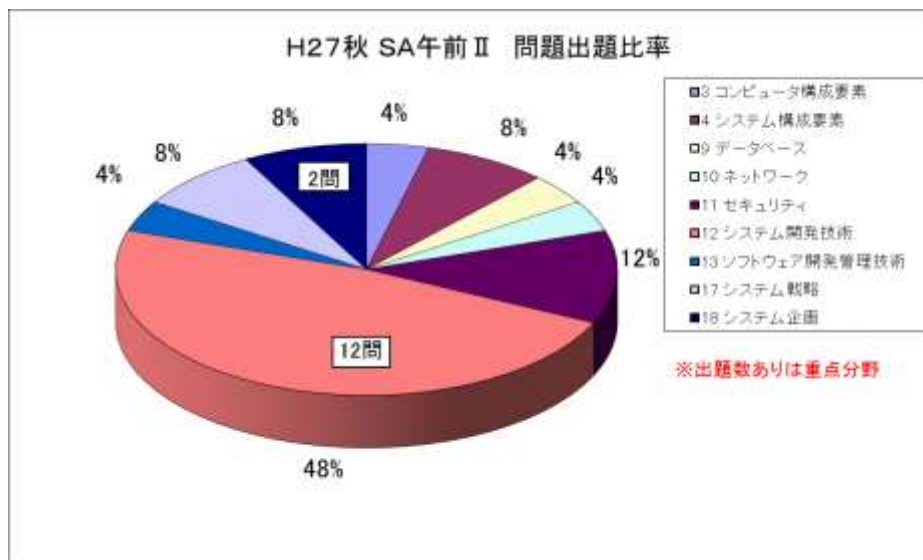
(午前 II 試験 (専門知識問題))

午前 II 試験は前回からセキュリティも出題範囲に含まれることになりました。システムアーキテクト試験の重点出題分野はシステム開発技術、システム企画です。他の試験に比べると専門知識問題の出題比率は少ないのですが、今回の試験では、システム開発技術が 2 問増え (12 問)、システム企画が 1 問減り (2 問) が出題されました。

新傾向問題としては、次の問題が挙げられます。やや難しい内容でした。

- 問 3 境界オブジェクトに該当するもの
- 問 4 オブジェクト指向設計の開放・閉鎖原則
- 問 6 2 段階で実行するプログラミングモデル
- 問 12 カークパトリックモデルの 4 段階評価
- 問 14 BABOK におけるソリューション要求
- 問 16 実費償還型契約

平成 27 年秋期のシステムアーキテクト試験 午前 II 問題出題比率



次に、午後 I と午後 II 試験の分析結果をお知らせします。

(午後問題)

・午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。問 2 はシステム移行のやや難しい問題でした。

- 問 1 データ連携システムの構築（金融機関とのデータ連携システム） 普通
コード設定理由，暗黙の検索条件，出力条件。振替依頼停止機能，設計変更機能
- 問 2 業務及びシステムの移行（飲料製造会社） やや難
移行単位，マスタ修正，再実施できない業務，不要業務，転送データ，処理タイミング
- 問 3 業務委託管理システムの導入（ソフトウェアベンダ） 普通
画面設計，ステータス表示，通知案件表示，未済案件，状態遷移，ファイルの属性
- 問 4 災害監視用小型無人航空機システムの開発 やや易
機能，監視カメラ運用，無人機運用，操縦端末の表示画像，遠隔操縦飛行の検討

・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。3 問とも開発業務のオーソドックスなテーマでした。

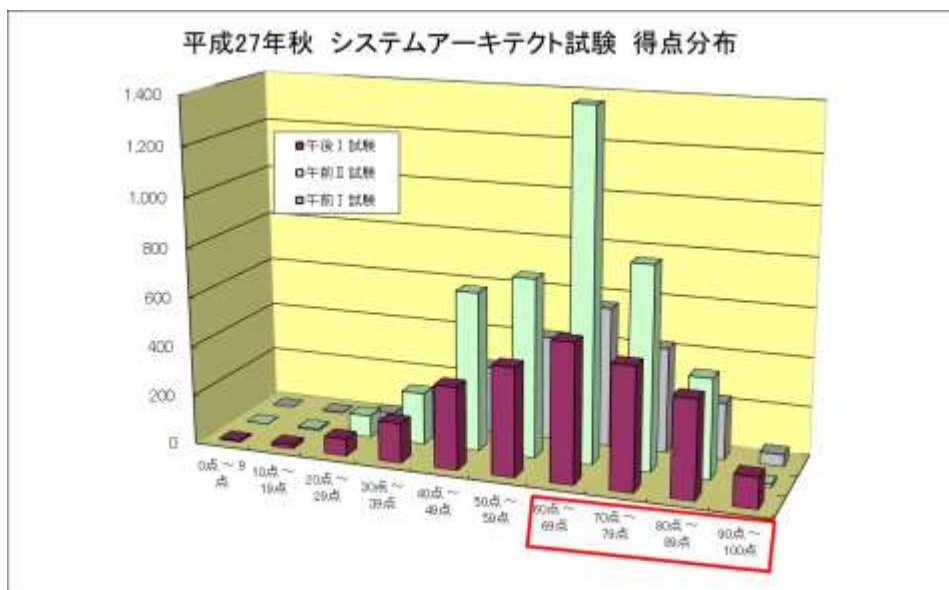
新試験では各設問に字数制限付き，設問ア：800 字以内，設問イ：800 字～1,600 字：設問ウ：600 字～1,200 字となっていますので，必ず字数を守って記述する必要があります。

- 問 1 システム方式の設計について
業務と概要，要件，業務プロセス効果と実現可能性決定理由，利用者理解を高める工夫
- 問 2 業務の課題に対応するための業務機能の変更又は追加について
システム・業務概要と課題，業務機能の変更・追加，既存システム影響の最小化
- 問 3 組込みシステム製品を構築する際のモジュール間インタフェースの仕様決定
システム概要・特徴・要件，仕様の配慮。想定事態の内容と配慮，仕様の影響・評価

(平成 27 年秋 システムアーキテクト試験 スコア分布)

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0 点 ～ 9 点	0	1	5	D 353	
10 点 ～ 19 点	2	6	16		
20 点 ～ 29 点	25	90	70	C 122	
30 点 ～ 39 点	109	210	161		
40 点 ～ 49 点	272	645	334	B 388	
50 点 ～ 59 点	423	721	437		
60 点 ～ 69 点	566	1,432	558	A 697	
70 点 ～ 79 点	426	817	494		
80 点 ～ 89 点	230	401	394		
90 点 ～ 100 点	49	12	125		
計	2,102	4,335	2,594	1,560	697
対前試験比率		206.2%	59.8%	60.1%	44.7%
午前Ⅰ免除者（概数）	3,172	60.1%			

合格者数	697	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ 60 点以上合計	1,271	60.5%	574
午前Ⅱ 60 点以上合計	2,662	61.4%	1,965
午後Ⅰ 60 点以上合計	1,571	60.6%	874
午後Ⅱ -A 評価	697	44.7%	0



新試験制度で春期の試験で午前I試験免除になった人がたくさん出ましたが、得点分布を分析してみると、今回午前I試験の免除者は概算で3,172人（60.1%）でした。

次に高度系共通の午前I試験で基準点（60点）以上の人は1,271人（受験者の60.5%）で、前回の64.1%に比べて若干下がっています。

午前II試験で基準点以上の人は2,662人（受験者の61.4%）と前回81.3%と比べて20%近くの大減です。やや難しい問題も出題されたことが影響したと思われます。

午後Iで基準点（60点）以上取れた人は60.6%で、前回試験の65.9%よりも5%強下がっています。

最後に午後IIの論述式試験で合格点（A評価）を取ることができた人は44.7%で、こちらは前回試験の36.0%よりも8%強上がっています。

(今回合格された人)

今回見事合格された方で、16 春期試験で情報セキュリティスペシャリスト・データベーススペシャリスト・エンベデッドシステムスペシャリスト・プロジェクトマネージャ・システム監査技術者の試験合格を目指す方は、午前の試験が午前Ⅰの共通知識と午前Ⅱの専門知識に分れます。午前Ⅰ試験は免除になりますので、午前Ⅱの専門分野知識について、なるべく早く試験対策を開始してください。まずは該当分野の応用情報技術者試験の問題を解いてみましょう。

高度系種別を受験するにあたっては、出題範囲を網羅した通信教育の『午前Ⅰ免除コース』がおすすめです。基礎から段階的に知識の積み上げを行いたい方には「書籍」「WEB 教材」「WEB テスト」「公開模試」の合格のために必要な知識を体系立てて身に付けることが可能なコース学習『試験対策コース』がおすすめです。

その他、学習にあたっては、午前試験対策に重点をおいた『宿題メール』。午後試験対策には、受験対策のプロ講師から直接学べる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』など、学習アイテムを豊富に取り揃えております。午前Ⅰが免除になり、かつこれまでの学習で身に着けた知識が鮮明なうちに次の資格試験にチャレンジすることが、合格への近道です。次のステップアップを目指しましょう。

(今回残念ながら不合格だった人)

まず、自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。苦手な分野は、アイテック刊行の新試験用のレベル 3 のテキスト教材などを活用し、じっくり学習してください。今回の午前試験の得点が 50 点～59 点の人は、合格までほんとうに"あと一步"のところまで実力が付いていますので、学習した知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習から始めましょう。

また、午後試験の得点が 60 点に満たなかった人は、確実に得点するために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。選択範囲が広がったことで解答しやすい問題を選ぶことができますので、チャンスが広がると考えて、早めに対策を始めましょう。

なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたうえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

再受験のための学習にあたっては、弱点補強中心に学習を行いたい方やすでに教材をお持ちの方はトレーニング問題とポイント解説、午後の音声講義によるポイント解説などの充実したコンテンツの『演習コース』、講師から直接指導を受けることでその場で自身の弱点分野を把握、克服ができる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』がおすすめです。

その他、各種豊富な学習メニューを用意しております。

2016 年春期試験対策の新しい書籍については弊社のホームページからご覧ください。

(<http://www.itec.co.jp>)

■現在刊行済みの2016年用 試験対策書籍

- ・試験対策のプロが選び抜いた「良く出る問題」を多数収録!!
- ・出題傾向を分析、定番問題と頻出問題を掲載、予想問題集が装いを新たに登場!! **好評発売中!!**



- ・午後試験対策おすすめ書籍 **好評発売中!!**



- ・問題演習おすすめ書籍 **好評発売中!!**



- ・論文対策おすすめ書籍 第4版に改訂!! **好評発売中!!**



■今後の刊行予定書籍

- ・「2016春 徹底解説 情報セキュリティスペシャリスト 本試験問題」 **2016/1/末 発売予定**